

スキャル における 利食いと損切りについて



元インターバンクディーラー
小林芳彦

■ **超**短期取引のこと。

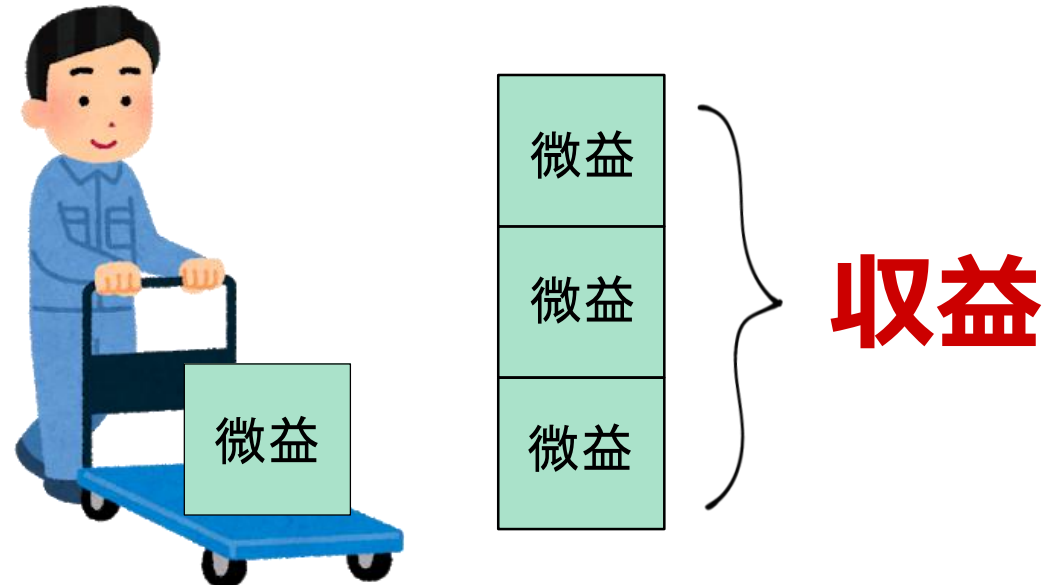


■ ポジションを保有する時間が
数秒～数分のトレードです。

スキルのトレードとは？

1回のトレードで、数十銭～数円狙うのではなく、

少しでも利益が出たら利益を確定させ、微益を積み上げる取引です。



スキャルのトレードとは？

チャンスだと思うタイミングがあれば、
1日何回もトレードを行います。

スキャルの戦略

微益 × 回数 = 1日の収益

勝率重視

の

利小損大

でOK

利小損大

でもOKの理由とは？

勝率 **7割** だと考えると

	7勝 ×	3敗 ×
1回あたり	+1.5銭 	-3.0銭
合計で	+10.5銭	-9.0銭

勝率と1回当たりの利食いと損切りの割合次第で、「損大」でも利益が残る計算となります。

利食いと損切りの目安は？

勝率**7割**で考えると

通貨ペア	利食いの目安	損切りの目安
ドル円	1.5～2.5銭	3～5銭
ポンド円	3～5銭	5～10銭
ユーロ円	1.5～3銭	3～5銭
豪ドル円	1.5～3銭	3～5銭

利食いと損切りの目安は？

勝率**6割**で考えると

通貨ペア	利食いの目安	損切りの目安
ドル円	1.5～2.5銭	2～3.5銭
ポンド円	3～5銭	4～7銭
ユーロ円	1.5～3銭	2～4.5銭
豪ドル円	1.5～3銭	3～4.5銭

相場が逆に動いた場合に、

スキアルを  デイトレ
スイング

長期保有に切り替えること。

判断は、



- テクニカル
- 水平線

客観判断が大事だと思います。

テクニカル（1分足 5・21の移動平均）

ゴールデン・クロス

短期の移動平均線が**長期**の移動平均線を上抜けるタイミング

まだ下がると考えて売りを持った場合、この時点で損切りを行う。



テクニカル（1分足 5・21の移動平均）

デッド・クロス



短期の移動平均線が**長期**の移動平均線を割り込んでくるタイミング

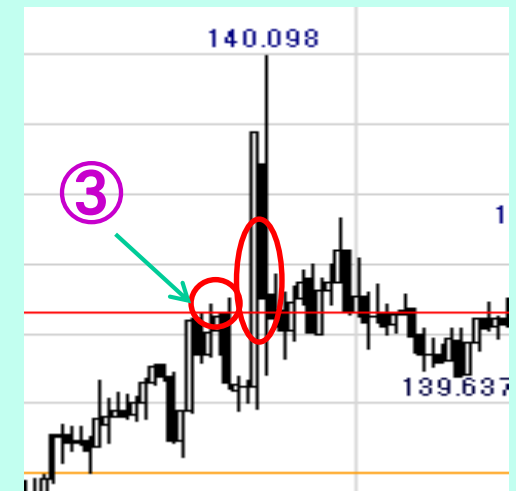
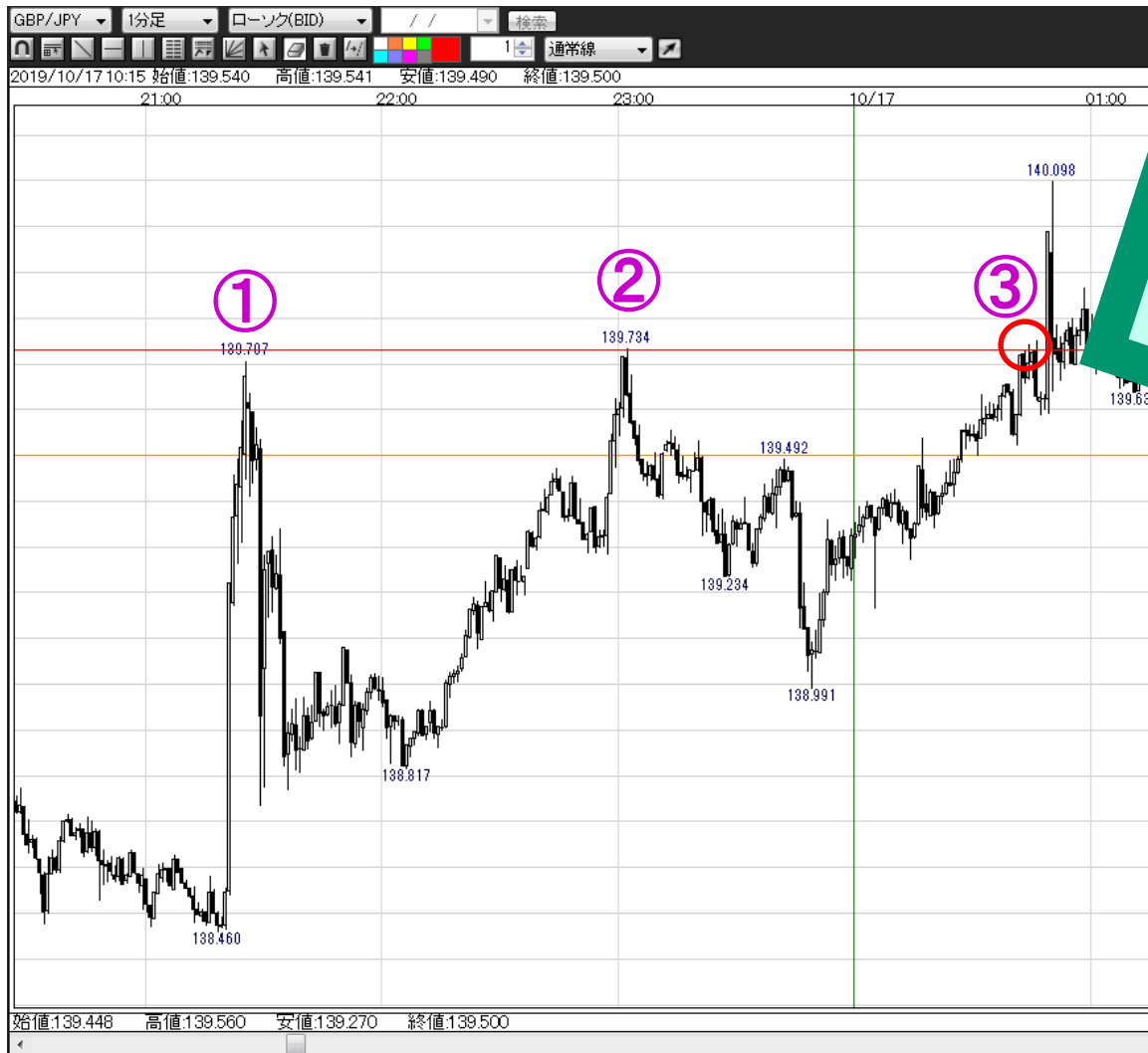
まだ上がると考えて買いを持った場合、この時点で損切りを行う。



テクニカル（1分足 5・21の移動平均）



水平線（1分足 抜けたら）



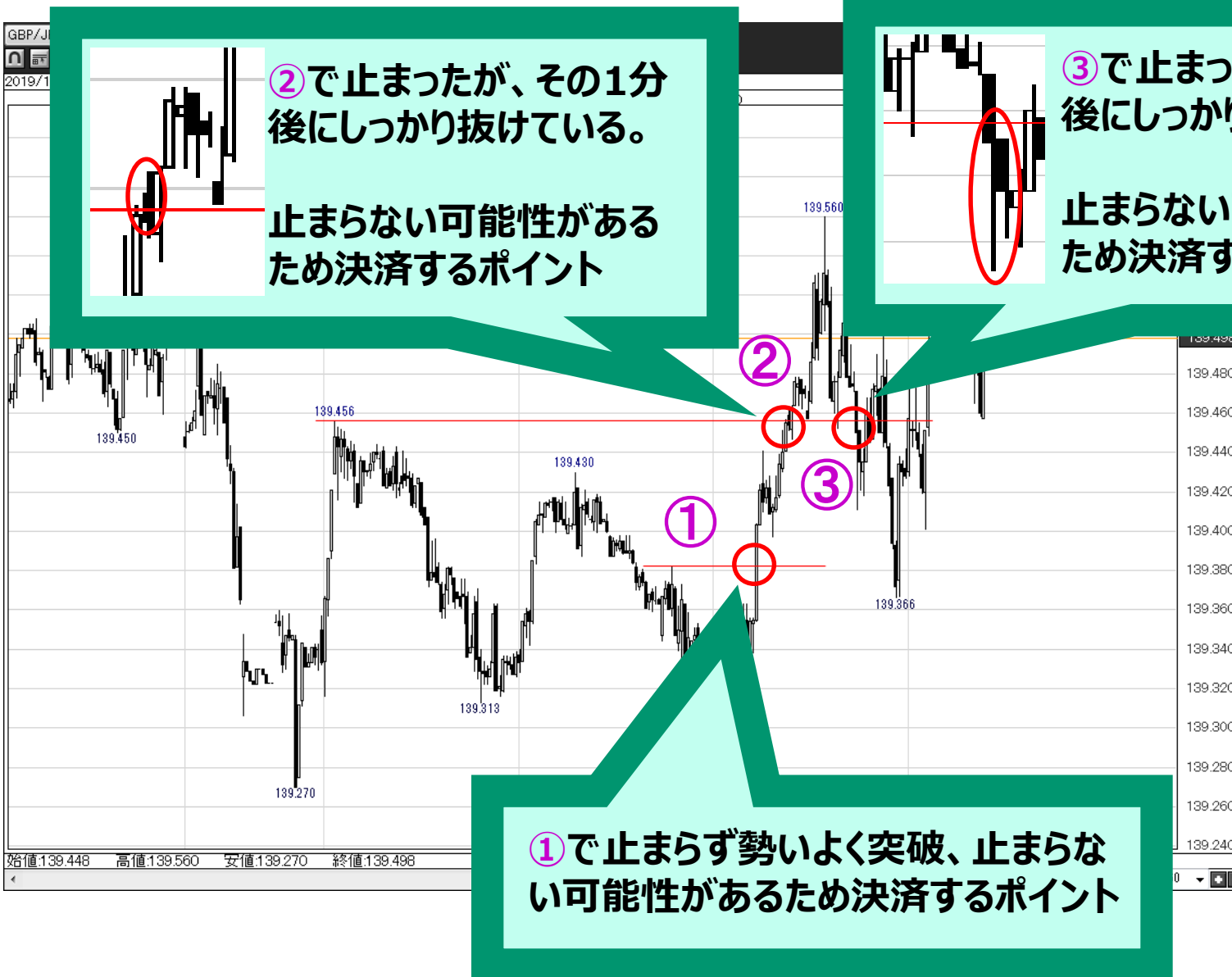
①②③と水平線で止まった上で水平線を抜けた場合はねる可能性あり。

売りを持っていた場合は決済するポイント。

水平線（1分足 抜けたら）



水平線（1分足 抜けたら）



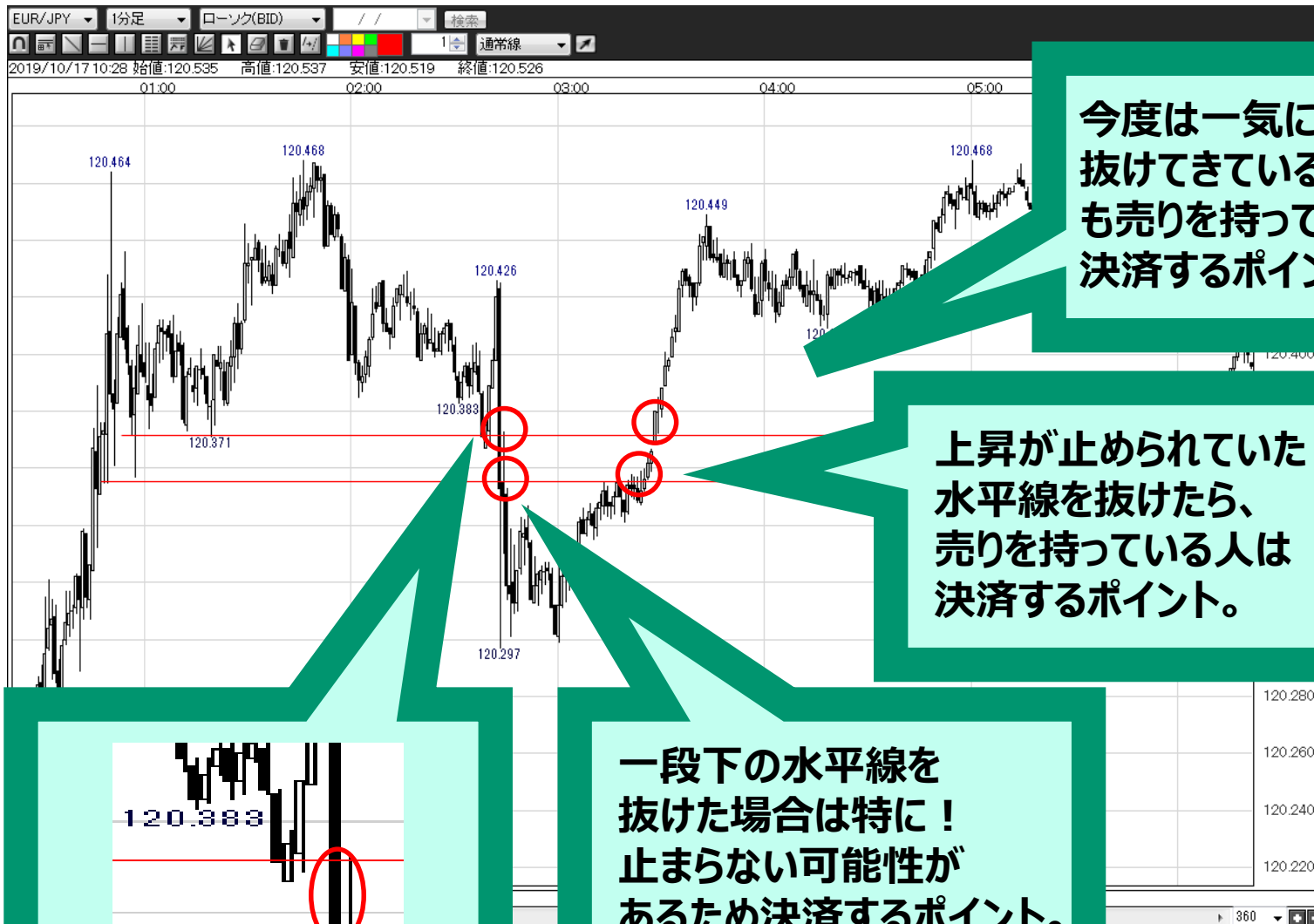
水平線（1分足 抜けたら）



①②で上値抵抗線となっていた平行線が今度は下値支持線となっているが、上値も重たい状況。

こういう場合は、水平線を抜けた場合は止まらない可能性があるため決済するポイント。

水平線（1分足 抜けたら）



今度は一気に水平線を抜けてきている。この場合も売りを持っている人は決済するポイント。

上昇が止められていた水平線を抜けたら、売りを持っている人は決済するポイント。

一段下の水平線を抜けた場合は特に！止まらない可能性があるため決済するポイント。

水平線を抜けた場合は止まらない可能性があるため決済ポイント。

テクニカルポイントで損切りすれば、客観的な判断で損切りが可能になります。

コツコツドカンのように 1 回の損切りでこれまでの利益をすべて吹き飛ばしてしまわないよう、取引ルールを工夫してみましょう。



<リスク開示>

このセミナーは、情報提供を目的としており、FX取引の勧誘を目的としたものではありません。また、実際の市場動向とは異なる可能性があり、断定的判断を提供するものでもありません。当該セミナーの内容を予告なく変更する場合があります。

当該セミナーの内容および資料のご利用によりお客様に損失が生じた場合であっても、当社および当該セミナーの講師（所属会社を含む。）は一切の責任を負いません。お取引につきましては、お客様ご自身の判断と責任において行っていただきますようお願い申し上げます。

なお、セミナーに関する著作権は、当社および作成者に属します。

お客様の私的使用目的以外での使用、他人への譲渡や販売または再配信を行うことはできません。

<注意喚起>

店頭外国為替証拠金取引は、元本や利益を保証した金融商品ではなく、為替レートの変動等による損失発生可能性があります。さらに、レバレッジ効果（想定元本と比較して少額の資金で大きな取引ができる仕組み）や為替レートの変動等によって注文（ロスカット注文を含む）が約定しない場合等、元本を上回る損失発生の可能性があります。

特に、マイナー通貨（流動性の低い通貨）の取引をされる場合、元本以上の損失発生の可能性が高くなります。加えて、スワップポイント（通貨間の金利差調整額）においては通貨ペアやポジションの状態（売りまたは買い）によっては、受け取れる場合もあれば、支払わなければならない場合もあります。

当社は、インターネットを通じて店頭外国為替証拠金取引サービスをご提供しておりますので、お客様のパソコン・インターネット環境や当社のシステムに不具合が生じた場合等、取引ができなくなる可能性があります。また、お客様の取引の相手方は当社（相対取引）となっており、取引所取引とは異なりますので、契約締結前交付書面をよくお読みいただき、内容をご理解の上、ご自身の判断により取引を行っていただきますようお願いいたします。

商号：ヒロセ通商株式会社

業務内容：第一種金融商品取引業

登録番号：近畿財務局長（金商）第41号

加入協会：金融先物取引業協会会員番号1562